
連載になるかもしれない、ネタ。?

海野 真珠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

連載になるかもしれない、ネタ。？

【Nコード】

N6721U

【作者名】

海野 真珠

【あらすじ】

#twnovelのネタに、加筆修正。第三弾。
タイトル通り。いつか、連載になるかもしれない、ネタ。
前2作と、多分きつと関係はある、ハズ。

(前書き)

ここまでくると、連載か？

湯浴みを終えた、就寝前のひと時。

火照った体を冷ますために、バルコニーへと足を運んだ。

月が綺麗な、夜。

昼間の熱気が嘘のように、清涼な風が髪を乱す。

「風邪をひく」

突然かけられた声。

しかし、驚きはない。

この部屋に、無断で入れる者など、ただ1人しかいない。

「陛下・・・ 今宵は、こちらでお休みですか？」

ここに来るなど、珍しい、と笑う。

後宮に数多控える側室の、隣こそがこの方の寝所であろうに。

「王妃の、妻の隣では眠らせてもらえぬのか？」

子をもつけた王妃など、気遣う必要もないであろうに。

この夫は、定期的にここを訪れる。

わたくしに気遣っているのか、体面を気にしているのか。

それとも・・・

「わたくしが、どうして否を申しましょうか」

我が子に、苦情を進言されたか。
潔癖のきらいのある我が子は、父王の好色を毛嫌いしている。
後宮など、解散してしまえ、と声高に言う。

手を引かれてテラスより室内に戻れば、その暖かさにホッとしたり。
思いのほか、体が冷えていたらしい。

「一杯、付き合わぬか？」

そう言って差し出された、ワイン。
それに、夫がここを訪れた、本当の理由を悟った。

淡く微笑み受け取って、夫からの杯を受ければ、どこか安堵の表情。
情。

これは、わたくしが、了承を返す時の合図。
注がれたワインに口をつけ、夫の言葉を待つ。

「新しく、側室を迎えようと思う・・・」

珍しく、言葉を選ぶように逡巡していたが、結局、何も飾らぬままに告げられた。

思った通りの内容に、知らず口角が上がった。

「陛下の御心のままに」

躊躇いもなく返した了承に。

それを見た夫の、なぜか顔に浮かぶのは、苦笑。

「オマエは、いつも、ただ、そう言う」

聞き分けの良い、良すぎるわたくしに、夫は不安になるという。わたくしが、この国に嫁して、この国の王妃になって早10年。その間に、既に20人も側室を新たに娶った夫。側室を迎えるたびに繰り返されてきた、この、やり取り。

「わたくしは王妃。陛下の、唯一の妻でございます」

公式の場に、国王と並び立つのは、ただ1人の王妃のみ。

外交の場に、国王とともに訪れるのは、ただ1人の王妃のみ。

後宮から出られぬ側室など、気にする必要もない地位に立つ、王妃という身分。

公的に国王の妻と認められるのは、王妃ただ1人。

「王太子は、そうは言ってはくれなんだ」

先に告げた王太子には、激しい嫌悪を向けられたという。

母上のお気持ちを、もっと考慮すべきだと、激しくなじられたという。

愛しい我が子の言い分が、夫に一瞬の逡巡をもたらしたのだと知った。

「そなたは、本当に、嫌ではないのか？」

何をいまさら、と笑う。

嫌だと言ったところで、この夫が側室を迎えるのをやめるとは思えない。

「わたくしより他に、陛下のお子を宿す者が出てこぬ限りは」

事実、嫌ではないのだが。
そう、うそぶく。

「その側室の姫君にも、陛下のお子が宿ることはありませんもの」
種の無い夫との、奇跡の子は、わたくしの愛しい子たちだけ、
なのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6721u/>

連載になるかもしれない、ネタ。？

2011年7月10日07時40分発行